

# 古文ドリル：「奉る」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「奉る」の正体（3用法）

古文の「奉る」は、**直前が体言か連用形か**、そして**衣服・乗り物・飲食物が対象か**を見れば見分けられます。基本は謙譲語ですが、着る・乗る・食ふの場面では尊敬語になります。

用法	接続・条件	訳	例
① 本動詞・謙譲	体言+奉る	差し上げる／献上する	歌 <b>奉る</b>
② 補助動詞・謙譲	連用形+奉る	～申し上げる	思ひ <b>奉る</b>
③ 本動詞・尊敬	衣服・乗り物・飲食物+奉る	お召しになる／お乗りになる／召し上がる	御衣 <b>奉る</b>

### 識別の鉄則

- 直前が動詞の連用形（申し・思ひ など）→ 補助動詞・謙譲「～申し上げる」。
- 直前が体言で、差し出す物（歌・文 など）→ 本動詞・謙譲「差し上げる」。
- 直前が体言で、衣服・乗り物・飲食物（御衣・御車・御薬 など）→ 本動詞・尊敬「お召しになる／お乗りになる／召し上がる」。
- 「奉る」は基本「謙譲」。着る・乗る・食ふの場面だけ尊敬、と覚える。
- 敬意の方向は動作の受け手（貴人）への謙譲（差し上げる相手）。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず直前が連用形か体言か

- 連用形+奉る（申し奉る・思ひ奉る）→ 補助動詞「～申し上げる」。
- 体言+奉る → 本動詞。次に「ふつうの物か・衣服乗り物飲食物か」で訳を決める。

### コツ② 体言なら「物」か「衣服・乗り物・飲食物」か

- ふつうの物（歌・文・贈り物）→ 「差し上げる」（謙譲）。

- 衣服（御衣）→「お召しになる」、乗り物（御車）→「お乗りになる」、飲食物（御薬）→「召し上がる」（いずれも尊敬）。

### コツ③ 「奉る」は原則謙譲、着る・乗る・食ふだけ尊敬

- 迷ったら謙譲（差し上げる／～申し上げる）。
- 「お召しになる・お乗りになる・召し上がる」と訳すのは衣服・乗り物・飲食物の場面だけ。

### よくある引っかけ

- 「奉り給ふ」は謙譲「奉る」＋尊敬「給ふ」の二重敬語。
- 「参る」（行くの謙譲＝参上）と「奉る」（与ふの謙譲＝差し上げる）の重点の違い。
- 敬意の方向は動作の受け手（貴人）。動作の主体ではない。

## 採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

本動詞（差し上げる）・補助動詞（～申し上げる）・尊敬（お召しになる等）を見分ける。

Q1. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

歌奉る。

Q2. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

思ひ奉る。

Q3. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

文奉る。

Q4. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）奉る。

Q5. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

申し奉る。

Q6. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御車（みくるま）奉る。

Q7. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

贈り物奉る。

Q8. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

見奉る。

Q9. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御薬（くすり）奉る。

Q10. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御文（おんふみ）奉る。

Q11. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

頼み奉る。

Q12. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御袴（はかま）奉る。

Q13. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

花奉る。

Q14. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

聞こえ奉る。

Q15. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御舟（ふね）奉る。

Q16. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御返り奉る。

Q17. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

仕うまつり奉る。

Q18. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）を脱ぎて奉る。

Q19. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御冠（かうぶり）奉る。

Q20. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

数珠（ずず）奉る。

## 【第2部】標準編（Q21～Q50）

体言か連用形か、ふつうの物か衣服・乗り物・飲食物かを確実に見分ける。

Q21. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御消息（せうそこ）奉る。

Q22. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

慰め奉る。

Q23. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）かさねて奉る。

Q24. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御琴（こと）奉る。

Q25. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

知り奉る。

Q26. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御湯（ゆ）奉る。

Q27. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御鏡（かがみ）奉る。

Q28. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

守り奉る。

Q29. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御直衣（なほし）奉る。

Q30. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御文を書きて奉る。

Q31. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御馬（むま）奉る。

Q32. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御覧ぜさせ奉る。

Q33. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御酒（みき）奉る。

Q34. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

玉（たま）奉る。

Q35. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

助け奉る。

Q36. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御扇（あふぎ）奉る。

Q37. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御沓（くつ）奉る。

Q38. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御文を見せ奉る。

Q39. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御料理（れうり）奉る。

Q40. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御土産（つと）奉る。

Q41. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

恋ひ奉る。

Q42. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御帯（おび）奉る。

Q43. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御簾（みす）奉る。

Q44. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

いつき奉る。

Q45. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御果物（くだもの）奉る。

Q46. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御經（きやう）奉る。

Q47. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

慕ひ奉る。

Q48. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御指貫（さしぬぎ）奉る。

Q49. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御琵琶（びは）奉る。

Q50. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御湯漬（ゆづけ）奉る。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

---

二重敬語「奉り給ふ」、衣服・乗り物・飲食物の尊敬、紛らわしい文脈を見分ける。

-----

-----

Q51. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

御文を奉り給ふ。

-----

-----

Q52. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）ひきかづき奉る。

-----

-----

Q53. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

太刀（たち）奉る。

-----

-----

Q54. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御冠（かうぶり）し奉る。

-----

-----

Q55. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御車に乗せ奉る。

-----

-----

Q56. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御単衣（ひとへ）奉る。

-----

-----

Q57. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御調度（てうど）奉る。

Q58. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

思ひ奉り給ふ。

Q59. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御車奉りて出づ。

Q60. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

申し上げ奉る。

Q61. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）を縫ひて奉る。

Q62. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御念誦（ねんず）し奉る。

Q63. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御菓子（くわし）奉る。

Q64. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御琴を教へ奉る。

Q65. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

砂金（さきん）奉る。

Q66. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御小桂（こうちぎ）奉る。

Q67. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御文持ちて奉る。

Q68. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

仕へ奉りけり。

Q69. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御衾（ふすま）奉る。

Q70. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御船（ふね）に奉る。

Q71. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御祈り申し奉る。

Q72. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御櫛（くし）奉る。

Q73. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御桂（うちぎ）奉る。

Q74. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御杖（つゑ）奉る。

Q75. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

守りいつき奉りて。

Q76. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御湯（ゆ）など奉る。

Q77. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

黄金（こがね）奉る。

Q78. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御直垂（ひたたれ）**奉る**。

Q79. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御念仏（ねんぶつ）申し**奉る**。

Q80. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御帳（とばり）**奉る**。

## 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

文脈・対象を総合して、本動詞（差し上げる）・補助動詞・尊敬を判別する。

Q81. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

帝に琴を**奉る**。

Q82. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

上、御衣（おんぞ）**奉り**て出でさせ給ふ。

Q83. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

後に文を**奉り**給ふ。

Q84. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

あけくれ思ひ**奉る**。

Q85. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御冠（かうぶり）し、御袍（ほう）**奉る**。

Q86. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御念誦の数珠を**奉る**。

Q87. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

いとほしと見**奉る**。

Q88. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御薬を強ひて**奉る**。

Q89. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

君に御衣を縫ひて**奉る**。

Q90. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

御供に仕へ**奉り**けり。

Q91. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御前に花を奉る。

Q92. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御くだもの奉りなどして。

Q93. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御馬に乗せ奉る。

Q94. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御料（れう）の御衣（おんぞ）奉る。

Q95. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御志（こころざし）深く頼み奉る。

Q96. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

宝物（たからもの）を奉る。

Q97. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御湯殿（ゆどの）にて御湯奉る。

Q98. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。

御几帳（きちやう）引き寄せ**奉り**て。

Q99. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

御身に御衣を**奉る**。

## 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「奉る」の**直前の語と対象**をもう一度確認しましょう。

- **本動詞・謙讓**「差し上げる」…体言（ふつうの**物**）＋奉る。「歌奉る」「文奉る」。
- **補助動詞・謙讓**「～申し上げる」…**連用形**＋奉る。「思ひ奉る」「申し奉る」。
- **本動詞・尊敬**「お召しになる／お乗りになる／召し上がる」…**衣服・乗り物・飲食物**＋奉る。「御衣奉る」「御車奉る」「御薬奉る」。
- 「奉る」は原則謙讓、着る・乗る・食ふの場面だけ尊敬。

直前の語を見るだけで一瞬で見分けられます。敬意の方向（受け手＝貴人への謙讓）も合わせて押さえましょう。

この問題集は無料です。古文の他の敬語（給ふ・参る・侍り候ふ）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太